

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		議会運営費 [市議会だより発行事務]							
予算科目	款 1	議会費	項 1	議会費	目 1	議会費	事業番号	2	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	議会事務局			庶務調査係			課長名	並木 俊則	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 3		
【施策名】 市民自治の向上						総合計画書 (ページ)	127		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市民				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 世帯数(外国人住民数を含む)				
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 議会の審議内容や活動内容等を知ることができる。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 配布した世帯数				
	→								
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 各定例会の審議内容、議会活動の状況などを掲載した市議会だより				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①市議会だより発行回数 ②市議会だより総ページ数 ③市議会だより発行部数				
	→								
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	世帯	38,705	38,895	39,302			
	成果指標	②の数値	世帯	29,231.0	28,009.0	28,048.0			
	目 標	②の目標値	世帯	38,705	38,895	39,302			
目標値設定の考え方 市内全世帯に市議会だよりを配布する。									
3 経費	活動指標	③の数値	①回 ②ページ ③部	①4 ②40 ③31,000	①5 ②44 ③30,500	①4 ②34 ③30,500			
	事業費(実績)		円	3,716,549	4,289,126	3,855,591	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	3,716,549	4,289,126	3,855,591			
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.5	1.5	1.5			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	12,366,000	12,465,000	12,570,000			
職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	16,082,549	16,754,126	16,425,591				
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和41 年度								
	(2) 環境の変化 新聞購読者数の減少に伴い、市議会だよりを購読する方も減少している。市議会だよりの内容の変化については、平成17年5月号から全面リニューアルを行い、紙面構成や掲載内容を一新した。また、平成23年5月号からは、カラー印刷に変更した。								

事業名称	議会運営費 [市議会だより発行事務]			
担当部署・課長名	議会事務	局	庶務調査	係 課長名 並木 俊則

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☐ 取り組んだ	取組手法：
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 市報等の広報紙と同一の方法で実施できる、効率的で財政上可能な全戸配布。 又は、議会単独で実施する効率的で財政上可能な全戸配布。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。	
	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業を継続するための柔軟な対応等を優先したため、令和2年度においては特筆した取組はない。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
	市報等の広報紙と同一の方法で実施できる、効率的で財政上可能な全戸配布。 又は、議会単独で実施する効率的で財政上可能な全戸配布	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 市民自治の向上 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 他課と協力して実施する場合、議会単独で実施する場合においても、費用対効果を検証して、効率的で財政上可能な全戸配布の検討が必要。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
	予算の確保に向けた調整が今後必要。	